

「あなたを忘れない～朝鮮からの満州移民～」

第40回民教協スペシャル「あなたを忘れない～朝鮮からの満州移民～」が来月に放送されます(放送局と放送日時一覧は別項)。戦後80年が過ぎても語られなかった、もうひとつの「満蒙開拓がある」と「歴史の空白」を取材しました。(小川浩)

1910年、不当な日韓併合条約によって日本は、朝鮮に対して植民地化を、さらに進めていきます。1931年、関東軍による「柳条湖事件」の苦難が続きます。この認識で、その歴史は「多くの体験者の証言や研究によって語り継がれてきた」ことに着目。

「日本統治下の朝鮮から満州へ移り住んだ人たちの存在は、ほとんど知られていません」ということから、この歴史を記録している人へのインタビューを敢行しました。



朝鮮からの満州移民(1941年撮影)

来月7・11日に
全国33局で放送

「歴史の空白」を取材

2月7日(土) 前10・30=テレビ朝日▽後4・0=新潟放送、沖縄テレビ
8日(日) 前10・0=ABCテレビ
11日(水・祝) 前10・25=北海道放送、秋田放送、福井放送、西日本放送、大分放送、宮崎放送、南日本放送▽前10・30=山形放送、北日本放送、山梨放送、日本海テレビ

放送日時一覧

じ、中国放送、山口放送、南海放送、長崎放送▽前10・48=メ〜テレ▽後1・50=福島テレビ▽後1・55=IBC岩手放送、東北放送、RKB毎日放送、琉球放送▽後2・50=熊本放送▽後3・49=北陸放送、静岡放送▽後3・50=青森放送、四国放送、高知放送▽後3・55=信越放送、山陰放送



戦史を自分と違う視点で日本をかえりみる姿勢を

「取材のきっかけは、2009年(別件)の民教協スペシャルで中国に取材に行った時です。それまで朝鮮からの満州移民というのを知りませんでした。初めて知り、いっつか、この視点で番組をつくりたいと思っていました」と言います。

それから15年ほどがたつて、民教協の番組企画で選ばれて、撮影のための調査など下準備を経て撮影に約3カ月。そして「民教協スペシャル」という形に制作することができました」と手塚さん。

「日本だけではありませんが、自分たちの目線で語り継がれてくる。満蒙開拓も被害を受けた視点で語り継がれてきました。それが、戦後の平

和主義を支えてきたと思えます」と語る一方で、「加害という視点で歴史を考えたときに、僕らがどういうふうな形でとらえて、どういう言葉で語っていくべきなのか、突きつけられてきたように思います」。

満州では、関東軍の支配で日本人は、等国民、朝鮮人は二等国民、中国人は三等国民と差別されます。それによって朝鮮から移民した人々には、「日本人の抑圧を受けた」という加害者の側に立つことにも

なりました」と番組は明らかにしています。

手塚さんは、「戦争という記憶が風化していくのでは」「体験者の方の言葉を聞けなくなる時代になっていくのでは」と危機感を持っています。

「最近ですら、強い国をつくる、国を守り抜くという威勢のいい言葉が政治家から出てくるような状況の中で、どんどん社会が自国本位になっていく状況があります」との思い。

「多様性という意味の違う考え方や価値観に背を向ける。しなくちゃいけない、と年々、それは強くなります」

て、社会が内向きになってしまっていると思えますが、やはり今、大事なことは自分たちと違う視点で戦争の歴史というものをとらえていく、日本という国についてかえりみる姿勢じゃないかと思っています」。

手塚さんは言います。

「取材して話を聞けば戦争は嫌だという気持ちには、やはり強くなる。聞いた一人として次の世代に伝えるなり、社会に向けてメッセージを発する。しなくちゃいけない、と年々、それは強くなります」

あ頃のはたしは知らなかった。子どもたちが「自分で餅をついて」と手応えを感じられる絶妙な力加減で大人たちが杵を支えてくれたことを。

親になつて参加した餅つきで、そうだったのかと知り、かつて受け取った思いやりの世代へ受け渡した。

堺の自宅にいらる人が入れ替わり立ち替わりぜんざいを食べに来た日のこと思い出す。

小豆の赤には邪気を払う力があり、厄年の人がぜんざいを振る舞

大人になつてドイツの友人を訪ねたとき、近所さんの誕生会に招かれた。

初めましての40代の婦人を皆と一緒に祝い、健康を祈った。

厄をぜんざいという福に代えて分かち合う習わしと通じるものを感じた。今だったら、中学時代の何倍もの度胸で知らない人に声をかけることができると、面白がれる自信もあるのだが、厄除けぜんざい、今もやっていますか。

(脚本家)

ぜんざいで厄落とし

脳裏に蘇ったのは、鍋いっぱいのぜんざいと、ピアノの黒い蓋。

ピアノは玄関を入つてすぐの応接間にあつた。

引っ込み思案ゆえに見知らぬ人に声をかける勇気がなく、ピアノの前でもじもじしていたのだろうか。手持ち無沙汰だからといってピアノを弾くわけにはいかず、空しく蓋を見つめるしかなかったのかもしれない。

ぜんざいと食べる漬物が甘さを引き立てるように、遠い日のしょっぱい思い出もぜんざいを甘くする。



うと厄を落とせるといふ「厄除けぜんざい」。関西に伝わる習わしらしい。

父が数え4歳の厄の年だったと思われる。わたしは中学一年生だった。できるだけ大勢に食べてもらおうと、通りすがりの人を呼び止めて、「厄除けぜんざい食べへて行つて下さい!」と家に招き入れることになった。SNSでこのメールもなかった時代の出たところ勝負集である。

波動

小笠原 遼

全く誰のおかげで市議になれたと思てんねん。他の党やたら、当選も覚えないうえやんか…。

俺は南大阪の河内長野で一番の進学校のラグビー部で活躍して、1学年下にサッカーの宮本恒靖おつて、当時はツネ様が目立ってたけど、俺も九行って真面目に法律の勉強して、すんなり司法試験受かって弁護士になつて、CAと結婚して、消費資金とか大物歌手の顧問とかして順風満帆の人生やつた。ほんと、でも、総理が直接伝えて

4代目、心の声?

橋下さんに見込まれて大阪市長になった。維新の会では経歴も見た目も抜群やから、橋下さんと松井さんに言われるがまま、国会議員やったり、市長やったり、知事にまでなった。橋下さんと松井さんが退いてからは、選挙ごと演説行つて聴衆

くれた。俺は与党議員やれば議席確保できる。俺は視察率持ってるし、民放はまたテレビ出してやる。万博も結局は応援してくれただけ。でも、あいつら今回は腰引けるな。辞職会見にも「自作自演」とかケチつけてきた。いまだ報道するなよ。

大阪市議の連中も、何が「統一地方選で信を」や、何が「住民投票でま

た。維新、埋もれてまうやん。高市さんに見捨てられるかも知れん。橋下や、松井から引き継いだ維新を4代目の俺がつぶすなんてみつももないこと。はでさ。何せ俺は大阪で最もデキる男やから、せつかくの総選挙や、市長とW辞職で便乗して、都構構掲げてトリア

た。維新、埋もれてまうやん。高市さんに見捨てられるかも知れん。橋下や、松井から引き継いだ維新を4代目の俺がつぶすなんてみつももないこと。はでさ。何せ俺は大阪で最もデキる男やから、せつかくの総選挙や、市長とW辞職で便乗して、都構構掲げてトリア

共演した天野はなら、演技について「思わす大好きになつたやうな想像もしたこのない芝居のアップロチを繰り広げてくれる」と絶賛されます。

1997年東京都出身。2010年俳優デビュー。テレビ東海ドラマ「パイレーツ」シリーズでジャズシンガー役を好演し注目を集め、先生と云うなら(日本系)、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」などに出演。放送中のNHK朝ドラ「ばけけけ」では県知事の娘・江藤リヨを。視聴者に向けて「共感できる部分と共感できない部分があつていいと思つていて、なので、見てくださる皆さまには、いろんな楽しみ方をしてほしい」。

記事・写真 亀井 太一



占領地の放送局幹部

暮らしているというこの地では、ウクライナの言語、通貨、国籍までも強制的に「ロシア化」が進められています。

番組は、ロシアの統治下にあるメディアや占領政府当局などを独自取材し、「ロシア化」の実態に迫ります。

休憩室



2026年1月5日(月) 夜ドラ

ウクライナ「ロシア化」に迫るNHKスペシャル25日

ロシアがウクライナに侵略を開始して2月24日で4年。25日放送のNHKスペシャル「臨界世界 戦慄の占領地「ロシア化」の実態」(NHKテレビ、後9・0)は、ロシア軍とウクライナ軍がにらみ合う最前線を取材しました。

最前線の間近に、ロシアが軍事侵略によって占領したウクライナの領土「占領地」が広がっています。ウクライナの国土面積の約2割を占め、およそ600万人のウクライナ人が

綱領・規約・憲法をいつも手元に

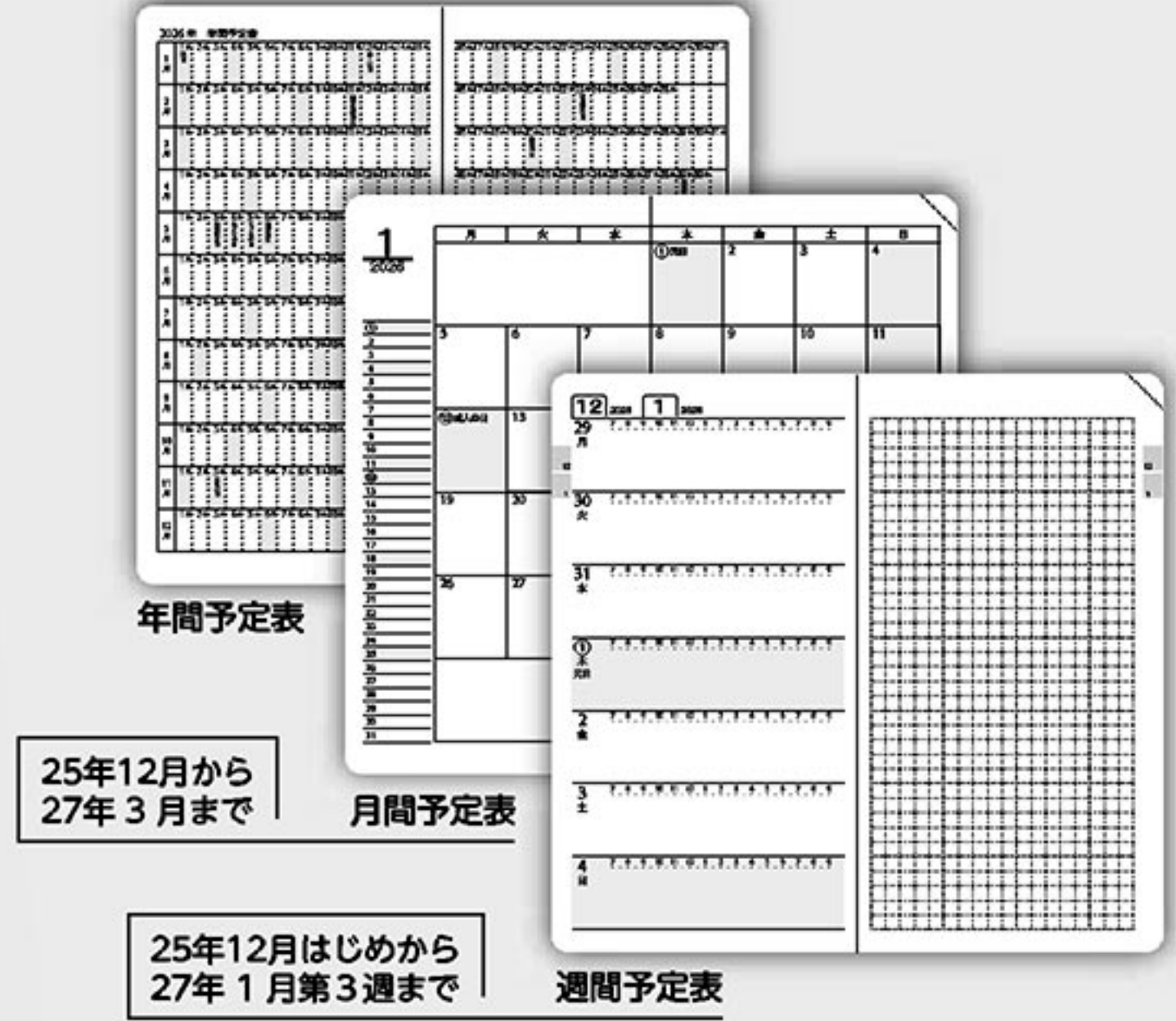
自民党政権が深刻な混迷と危機に落ちるも、いままさ、日本共産党を質量とも強く大きく、反動ブロックの危険に対決する「新しい国民的・民主的共通」をつくる時です。綱領・規約と日本国憲法にいつでも立ち返ることができる「赤旗手帳」とともに、希望ある政治の扉を開きましょう。

2026年版

赤旗手帳

発売中 タテ 175mm×ヨコ 95mm / 定価 1,350円(本体 1,227円+税) / 送料 120円

今回のカバーは半透明のグレー。「2026」は、紙の本体の表紙と背に印刷しています。



暮らしと活動に役立つ資料

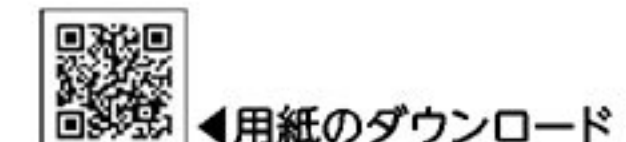
- 日本共産党綱領・規約 ●日本国憲法
- 政党・官庁・労組・各種団体等所在地 / 日本共産党事務所所在地
- 郵便料金 / 西暦・年齢早見表 / 電話・アドレス便利帳など

利用者のみなさんの声をお寄せください

- ①アンケートフォームに入力
- ②用紙をダウンロード・印刷してFAX (03-3470-1505) でいずれかの方法をお願いします



アンケートフォーム



用紙のダウンロード

ひきつづき

アンケートに寄せられた声をご紹介します

- ・憲法が載っているのが、報道を見ながらの確認に便利です。 >60歳代
- ・(使いはじめたきっかけ) 党事務所・各団体の住所・電話番号があるから。 >60歳代
- ・「自由欄」のページがほしい。以前は、読書や映画鑑賞の記録を書いていた。 >50歳代
- ・週間予定表の前年12月分は最終週ぐらいいいと思います。前年の手帳を使うため。 >60歳代
- ・(半透明カバー) よいアイデアで、おしゃれだと思う。 >60歳代
- ・50年ほど前から使っています。地道な書籍として継続してほしいです。 >70歳代